

小波瀬西工大前駅周辺整備 ワークショップニュース

Vol.2

小波瀬西工大前駅周辺エリアでは、現在交通環境の改善と鉄道施設のバリアフリー整備を合わせた駅周辺整備事業の実現に向け、鉄道事業者と連携しながら駅関連施設（自由通路、駅舎など）、駅周辺施設（駅前広場、周辺道路など）の予備設計業務に取り組んでいます。

今回は、8月23日に実施しましたワークショップにて、皆さんにいただいた意見をまとめましたので、ご参加できなかった方への情報共有を兼ねてワークショップ成果をご報告いたします。

ワークショップの概要

第2回ワークショップテーマ「施設の配置やデザインについて」

日時：2025年8月23日 場所：小波瀬コミュニティセンター（ホール）

第1回のワークショップでは、駅や駅周辺施設の使い方を想像していただき、「必要な機能について」ご意見をいただきました。最終回となる今回は、前回いただいたご意見を参考に、車での利用の仕方や、広場としての規模、デザインなどが異なる3つのイメージ案について説明させていただきました。グループ別にこのエリアに相応しいイメージに近い案を選んでいただき、施設配置やデザインの良いところ、改善してほしい箇所等について話し合い、最後に各グループの成果を発表していただきイメージに近い配置やデザインについて共有しました。

ワークショップでいただいたご意見やアイデア等も参考にしながら、検討を進めさせていただきます。ご参加いただきました21名のみなさま、誠にありがとうございました。

ワークショップの様子



○ 連絡先

苅田町 都市計画課
小波瀬西工大前駅周辺整備担当

〒800-0392
福岡県京都郡苅田町富久町
一丁目19番地1
☎：093-434-6521
✉：toshikeikaku@town.kanda.lg.jp

全2回のワークショップにご参加いただき、ありがとうございました！

○ 整備イメージ図

A 案

デザインイメージ：明るく軽快さの中に工業要素を取り入れた拠点空間
ロータリー形式：一般車・公共交通の出入口をまとめた案



面積比 広場：交通空間=1:2
想定駐車台数（計14台） 想定駐輪台数（計405台）
東側：8台程度 東側：280台程度
西側：6台程度 西側：125台程度



駅舎イメージ

- 白い壁にガラスなどシンプルで軽快な印象を与えるデザインと、オーソドックスでわかりやすいレイアウト

※一階部は、物販施設やトイレなどを併設



自由通路イメージ

- 歩道に屋根と転落防止柵を組み合わせた開放的な通路
- 南側に設置した屋根により日よけや雨よけになる様にする

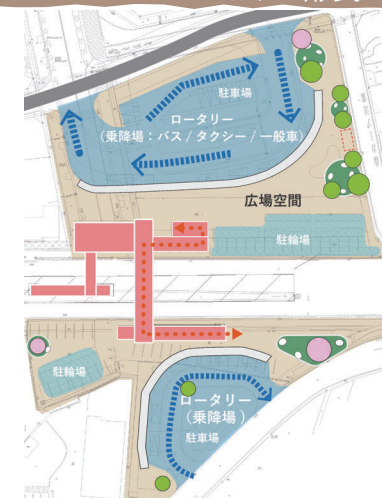
休憩施設

- 休憩、憩いの利用、イベント時には物販、出し物の中心として活用
- 動きのある若々しいデザインで素材、色調などは基本、他の施設との整合を図るが、部分的にアクセントとなる色も使用

※キッチンカー出店時のカフェスペースとしても利用

B 案

デザインイメージ：地域の特性を取り入れた象徴的な拠点空間
ロータリー形式：一般車・タクシーとバスの出入口を分けた案

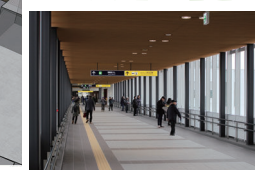


面積比 広場：交通空間=1:1.5
想定駐車台数（計12台） 想定駐輪台数（計405台）
東側：6台程度 東側：280台程度
西側：6台程度 西側：125台程度



駅舎イメージ

- 木調素材を用い、大きな軒を持つ住宅エリアの駅らしい暖かさと落ち着きのある駅舎
- 夜間も暖かい光が駅舎を包む演出を行なう



自由通路イメージ

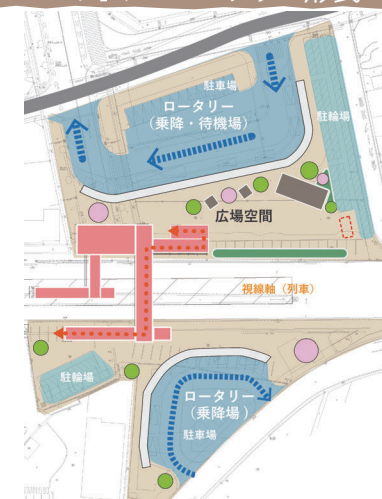
- 木調の素材を用いる
- 東端部には街並み、西端部には山並みを眺望出来るオープンな空間を設置
- 通路から線路（列車）を見ることが出来る明るいガラスを多用した仕様とする

休憩施設

- 平尾台（カルスト台地）
- カルスト台地同様に、緑の中に点在する石灰石と樹木をベンチ、オブジェ等に置き換え配置を行う
- 緑陰をつくることを目的に、樹木はやや多めの配置とする

C 案

デザインイメージ：シンプルで都会的なイメージの中に、人々が集う場所としての拠点空間
ロータリー形式：一般車・公共交通の入口と出口を分けた案



面積比 広場：交通空間=1:1
想定駐車台数（計18台） 想定駐輪台数（計405台）
東側：12台程度 東側：280台程度
西側：6台程度 西側：125台程度



駅舎イメージ

- 木調の素材を用いて大きな吹き抜けで自由通路と一体となった構造とする
- 広場同様に印象的で暖かさの中に個性を持ったデザインとする
- 駅前道路の視線軸を意識した建物意匠とする



自由通路イメージ

- 木調の素材を用いる
- 東端から街並み、西端から山並みを眺望出来るオープンな空間を設置
- 通路から線路（列車）を見ることが出来る明るいガラスを多用した仕様とする

休憩施設

- 休憩、憩いの利用のほか、イベント時には物販、出し物の中心として活用
- 木調素材、色調など、他の施設デザインと整合
- 親子での列車見学やキッチンカー出店時のカフェスペースとしても利用

ワークショップ作業

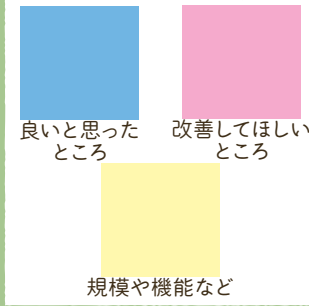
Step.1 駅前広場の機能配置について

- 交通機能、広場空間が異なる3つの案から、使い方のイメージが近いものを話し合って選んでください。（一つに絞れない場合、2案となっても大丈夫です）
- 選んだ案に対して、良いと思ったところを「青いふせん」・改善してほしいと思ったところを「赤いふせん」に書き込んでください。

使用したワークシート



ふせんの使い分け



Step.2 広場の使い方・機能について 使用したワークシート

- 修正した後の配置イメージについて、日常やイベントでの使い方をイメージし、どんな利用の仕方をしたいのかを話し合ってください。
- 利用イメージを踏まえ、改善してほしいところや追加したい施設等も図面に書き込んでください。

駅舎	自由通路 (東西をつなぐ通路)	駅前広場

ワークショップ成果

1 班



主な意見

- 交通安全の確保を念頭にA案が良い。
- 高齢者や小学生が使いやすく、東西どちらからでも同じ距離になるよう、駅舎は橋上駅にしたい。
- 自転車でも利用できる階段を設置し、駅前広場にはベンチを分散して配置したい。
- 駅舎デザインはシンプルで、苅田らしさを感じられるものが良い。

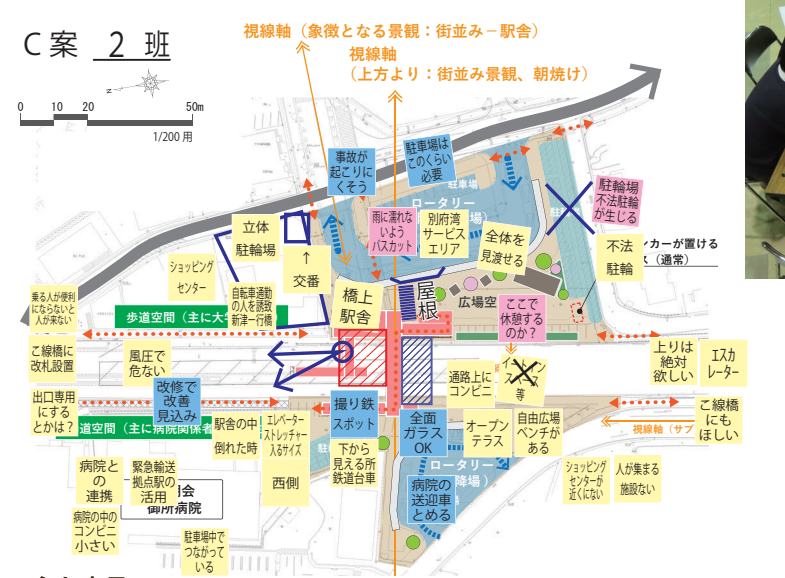
4 班



主な意見

- 交通安全の面からA案が良い。
- 小倉等に行く際に一日車を駐車できるような駐車場の確保。
- 両方の広場にトイレを置いてほしい。
- 駅前広場には雨や、暑さを緩和できるように屋根を設置。
- デザインは、苅田駅は工業的なイメージがあるが、こちらは住宅街にあるので木目調の柔らかいものが良い。

2 班



2班 駅舎	自由通路 (東西をつなぐ通路)	駅前広場
橋上駅舎が良い 改修してもこの線路は活用 自由通路の真ん中 デザイン 苅田駅は冷たい印象 奇抜なものはいらない 病院 大学 住宅 降りてみたい駅話可能性	8m以上の通路 コンビニ 150m以上 ストリートミュージシャン 通路的機能 人が集まる施設 ショッピングセンター ルミエールよりおしゃれ	駅前広場 前の交通統合でなくなった 屋根 動線と連続した屋根 バス停から駅の間等 市街化区域の見直し 百合ヶ丘50年 開発団地の再開発 農家はすて住宅建設へ 土地が高いため他の土地へ

主な意見

- 車での事故が起こりにくいC案が良い。
- 駅前広場は雨が降った際にも利用しやすいように駅までの動線に屋根を設置してほしい。
- 自由通路にエスカレーターの上りを設置してほしい。通路に8mくらい確保し、ちょっとしたイベントができるような空間を確保したい。
- 駅舎は、東西どちらからも利用しやすいように線路の真ん中に配置する橋上駅が良い。

3 班



3班 駅舎	自由通路 (東西をつなぐ通路)	駅前広場
駅舎前に出し自由通路 東西にきれいなトイレ コンビニとトイレ	広くとりベンチを置く5m 西工大にデザインしてもらう エスカレーター階段の向き西側 エスカレーター	キッチンカーが 木はおかない管理 人と自転車動線分離

主な意見

- 車の動線や歩行者の安全性を踏まえて、ロータリーの入口が分かれているC案が良い。
- 東側交差点には信号が必要。
- 駐輪場は線路側にし、広場内の人と自転車との交錯を減らす。
- 自由通路はエスカレーターを設置し、通路幅は5mの幅を確保する。C案のデザインを踏まえ、人の往来と休憩ができるようにしたい。
- 駅舎には、コンビニと綺麗なトイレを設置してほしい。

「ワークショップ参加者アンケート」のまとめ

ワークショップは概ね有意義とのご評価を頂きました。駅動線の改善やユニバーサルデザインの導入、道路・駐車場の拡張など利便性向上に関するご意見を多くいただくと共に、事業に関する今後の住民への周知方法や、予算面へのご不安も課題として挙げられ、地域の活性化と早期整備の実現を望むお声が目立ちました。

今後の予定

今後は皆様のご意見やアイデア等も参考にしながら検討を進め、計画案に対するパブリックコメントの募集等を予定しております。引き続き関係機関との協議を重ね、安全で利用しやすく、親しまれる施設の整備を目指してまいります。今後の事業の進捗については町ホームページ等でお知らせしていきます。